

(科目コード : 1100820061Y4)

【改訂】第26版(2014-03-14)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】4組 1年

【担当教員】前期：田貝 和子
後期：田貝 和子

【授業目標】

論理的な文章を客観的に理解することができる。
文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。
自己の考えを論理的、客観的に表現するための基本的な能力を養うことができる。
現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の基礎的知識について理解を深めることができる。

【教育方針・授業概要】

論理的文章を教材とする授業においては、語彙・文法的事項を丁寧に確認しつつ、文章の展開に即して論旨を正確に把握し、論説内容に検討を加える。併せて、文章表現力の錬成も兼ねて「論旨の要旨」をまとめる作業を行う。
文学的文章・韻文を教材とする授業においては、登場人物の心理を筋に即して読み取ること、あるいは凝縮された表現からイメージを膨らませること等を主眼とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：精選 国語総合 現代文編：明治書院：9784625004094

参考書：新訂 総合国語便覧：第一学習社：9784804033013

参考書：常用漢字フォルダ：浜島書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を使用する。

【メッセージ】

1年生の国語表現では、読むことを中心に行います。正確に読解することを通じて、考える力を身につけてください。それが、自分の考えを他人に正確に伝えるための表現力につながります。

ノートを一冊用意してください。また、国語辞典も常に机の上に置き、辞書を引く習慣をつけてください。なお、提出物、授業態度に関してもしっかりチェックします。

【事前に行う準備学習】

『新訂 総合国語便覧』（第一学習社）の「口語文法要覧」（pp.552-557）を読んでおいてください。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，漢字テスト：12%，課題プリント：8%

[後期]中間試験：40%，期末試験：40%，漢字テスト：12%，課題プリント：8%

【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】（国語表現）

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	国語表現の授業の概要を述べ、その意義と目的について説明する。		
第2回	口語文法	口語文法の基礎を身につける。	漢字テスト	
第3回～第4回	「ふと」と「思わず」（随想）	ことばとはどのようなものか読み解く。	漢字テスト	
第5回～第7回	水の東西（評論1）	対比表現に着目し、論理の展開や要旨を読み取る。	漢字テスト	
第8回～第11回	羅生門（小説1）	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	漢字テスト	
第12回～第15回	時間をめぐる衝突（評論2）	現代世界について筆者の主張を過不足なく読み取る。	漢字テスト	
第16回～第19回	ネットとリアルのあいだ（評論3）	筆者の主張する現代の情報社会の問題点を読み取る。	漢字テスト	
第20回～第22回	短歌・俳句（詩歌1）	韻文の法則性を理解し情景や感動の中心を読み取る。	漢字テスト	
第23回～第26回	働くことの意味（評論4）	「働く」の一般的な意味と筆者のいう意味との違いを読み取る。	漢字テスト	
第27回～第30回	鶯のうへ・サーカス（詩歌2）	凝縮された表現からイメージを膨らませ、作者の思いを読み取る。	漢字テスト	